

岐阜県立土岐商業高等学校

校 長 浅井 芳 仁  
学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1  
電 話 0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校 学校評議員の会（第1回）

2 会議の構成（敬称略／50音順）

委員	犬塚 和世	元土岐商業高校育友会役員
	田口 力	東海旅客鉄道（株）土岐市駅長
	竹下 啓太	あいちビジネス専門学校 校長補佐
	石原 孝治	土岐市土岐口財産区議長
	土屋 早百合	土岐地区更生保護女性会理事

学校側	校 長	浅井 芳 仁
	教 頭	野々山 伸 一
	事 務 長	老 田 晃 聖
	教 務 主 任	村 橋 昌 則
	生徒指導主事	中 澤 正 仁
	進路指導主事	水 野 智 恵 美
	教務部（記録）	若 尾 昌 彦 宮 地 佳 予

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 会議の開催 日 時 平成30年6月21日(木) 14:30 ~ 15:30  
場 所 土岐商業高等学校校長室  
出席者 委員3名 学校側8名 計11名が参加  
\*校長の挨拶後、本校の教育について説明し、意見交換を行った。

## 5 会議の概要

テーマ（1）本校の教育について（本年度の成果と課題）

各分掌（教務部、生徒指導部、進路指導部）より本年度の成果と課題についての説明を行った。その主な内容は下記のとおりである。

### （1）教務部

#### 1 方針と重点

##### （1）方針

- ① 基礎的・基本的な学力の定着
- ② 積極的な広報活動の展開
- ③ 特色ある学校・学科作りの推進
- ④ 校務の効率化と情報の共有化

##### （2）重点

- ① 基礎的・基本的な学力の定着について
  - ア 毎時間の授業を重視しながら宿題を課し、家庭学習の習慣化を図る。
  - イ 遅進者の状況を早期に把握し、課題の期限提出、考査前の事前指導などを計画的に実施する。
  - ウ 年間指導計画（シラバス）を作成する。
  - エ 教員間で授業研究の機会を設定することで交流し、授業改善に努める。
  - オ 各教科に年間の反省を依頼し、改善に努める。
  - カ 授業時間を確保するために、各教科で自習課題を事前に準備するなどの対応を引き続きおこなう。
- ② 積極的な広報活動の展開について
  - ア 計画的な広報活動を展開する。
    - （ア）中学校の先生に対する説明、公立高校合同相談会、高校説明会、中学校訪問
    - （イ）ホームページの更新、学校通信の作成をおこなう。
    - （ウ）資料作成（学校案内、学校ガイド、Q&A 等）
  - イ 授業を参観し、施設設備・部活動等を紹介する。
    - （ア）一日体験入学 8月1日(水)、2日(木)
    - （イ）岐阜県教育週間 学校開放日：11月8日(木)午後
    - （ウ）中学校保護者訪問 13校が実施
- ③ 特色ある学校・学科作りの推進について
  - ア 専門的な学習内容、取得したい資格、進路実現を視野に入れた教育課程を作成する。
  - イ 各学科・コースの課題とその改善に関わる。
  - ウ 平成34年度の新学習指導要領に向けた教育課程の検討を進めていく。
- ④ 校務の効率化と情報の共有化について
  - ア 各分掌の協力を得て、e-教務や学校間ネットワークにおける機器及び情報の管理・運用をおこなう。
  - イ 会議の効率的な計画と運営をする。

- ・2年前より定期考査期間中の家庭学習時間調査を実施している。
- ・各学年平均学習は1年生1時間44分、2年生1時間45分、3年生2時間14分、昨年度平均学習時間は1年生1時間34分、2年生1時間37分、3年生1時間54分と少しではあるが学習に対する意識が出てきている。
- ・学校開放日に全教員が研究授業を行い、互いに研究、研修を行う。
- ・土岐瑞浪・多治見地区明智等への中学校説明会へ出向き、希望者の増加傾向の声が聞こえている。

- ・公立高校合同教育相談会の開催、私学への流出への歯止め、定員割れにならないよう対策していきたい。
- ・昨年度、資格取得状況 110/187 人が 3 種目 1 級を取得した。今後も維持していきたい

## (2) 生徒指導部

### (1) 生徒の安全確保を最優先に考え、生命を尊重する態度を育てる

- ・全教育活動を通して、一人一人の存在感を味わうことができ、生命の大切さを教え、自分を大切に指導を積極的に行う。
- ・全職員による交通安全指導のみならず、保護者や生徒会等と連携して事故防止に努める。  
(昨年度同様、5・9・2月を土岐商交通安全強化月間とする)

### (2) 生徒の規範意識の高揚と問題行動の未然防止

- ・HRや集会・通信・放送などを通じ、常にモラルやマナーについての呼びかけを行い、問題行動の未然防止に努める。
- ・小さな変化を見逃さず、迅速な対応で指導にあたる。
- ・MSリーダーズや生徒会、委員会活動を活用し、生徒同士の働きかけによって問題意識を深める。

### (3) 基本的生活習慣の確立

- ・「遅刻防止」「挨拶」「身だしなみ」に重点をおき、日常生活において全職員で粘り強く指導を展開する。
- ・高校生らしいさわやかな挨拶と、入退出の礼法指導を徹底する。

### (4) 教育相談の充実と全職員による生徒理解の深化

- ・教育相談室の機能をフルに生かせる体制作りを工夫し、生徒へのアプローチを強化するとともに、保健室や学年団との情報連携を密に行い、問題を抱える生徒の情報交換を行う。
- ・研修などを通じ、職員の教育相談における知識と技能を高め、全職員による積極的な相談活動を展開する。
- ・「弱さ」を持つ生徒に対し、「問題解決能力」を身に付けさせるような指導を工夫する。

### (5) 特別活動教育を通して、自己を活かす能力を身に付ける。

- ・所属意識を高め、母校愛を育む。
- ・地域社会との関係を密に保ち、マナーや自治意識の向上を図るとともに社会の一員としての自覚を持たせる。

#### ・交通事故の現状について

交通事故現状、今年度すでに12件 1年生による自転車事故（自損）が最も多い。  
自転車点検、安全講話などを実施し、安全教育を徹底する。

#### ・挨拶運動等について

挨拶運動を月1回実施。生活委員による校門で実施土岐市の挨拶デーへ今年度も参加する予定。  
非行防止啓発活動など生徒会中心に実施を予定している。

#### ・部活動の成績について

ウエイト部、陸上部、弓道部が東海高校総体へ出場。  
珠算部（珠算団体4名・電卓個人1名）計5名の全国大会出場が決定している。

## (3) 進路指導部

### ○今年度の取り組み

- ア 望ましい勤労観・職業観を育成
- イ キャリア教育を推進し、主体的な進路選択ができるようガイダンス機能の充実
- ウ 進路実現ができるよう確かな学力や専門的な知識・技能を身につけるための指導の充実
  - ・外部模試や適性検査を定期的実施している。
  - ・表現力・コミュニケーション力を身につけるための支援を行っている。

- ・個々に合わせた進路指導の必要性。
- ・進路意識、社会情勢などを知る機会を設ける。
- ・1年生 インターンシップ、2年生 卒業生と語る会、3年生 進路ガイダンスを実施および実施予定。
- ・30年度入試制度の変更に対する指導、時事問題への対策などを実施予定。
- ・進路への明確な意識を持っている生徒と自分がやりたいことと自分の適正のマッチングをどのように理解するかが必要である。

## テーマ（2）：意見交換・質疑応答

質問1：交通事故が増加傾向にあるようだが発生している場所は同一なのか。

回答1：新明峠が一番多い場所、歩道が狭く草が生えているため通りにくいというえ、スピードが出やすい場所であるので草刈りや生徒への指導を徹底したい。

質問2：2020年より中学・小学校でのプログラミングの授業開始に伴い（小学校ではScratchを利用するのではないか？）高校では指導内容も変化するのではないか。土岐商業としての対応策は何か考えているか。

回答2：現在、小学校・中学校の先生への手助けなどができることがないか検討中である。

免許「情報」を取得している若い教員が少なくなっているため全体的に危惧されているが、ぜひ本校にてJavaの教員への講習会の開催をお願いしたい。

商業高校校で培ってきたプログラミング教育のアドバンテージを生かして、本校職員が小中学校の教員または小学生に対して授業が行えるような機会があるとよいと考えている。

質問3：部活動の指導者の在り方（パワハラなど）は大丈夫か？

回答3：生徒、保護者への学校評価アンケートを無記名で実施予定である。また、教育相談アンケートを年3回実施しているが、体罰に関する回答はない。

生徒が好き嫌いでアンケートに回答してしまうことがあるのではないかと危惧している。

意見1：先生と生徒のコミュニケーションを取り合うことができる学校づくりが望まれる。

## 6 会議のまとめ

本年度も学校評価アンケートの実施を予定しています。多くの機会にご意見をいただきよりよい学校作りに努めて参ります。また、地域との連携にも努めて参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。本日はお忙しい中ありがとうございました。